

A0701-04	重合反応における暴走反応に注意		
本文	重合反応は適切な制御がなされないと暴走反応が起き、火災、爆発などを引き起こすので注意すること。		
リスクの種類	火災、爆発	関連目次・章節	
理由(何故)	重合時の温度制御系に異常を生じたとき、アラームがなって運転員が判断して処置する迄に、反応が暴走してしまうことがある。安全弁等の対策が講じられていても、内容物が噴出して火災、爆発等の事故を生じることがある。		
方策	適切な温度管理と反応監視のシステムを強化する。 異常の判断を、システム化し、アラームから処置までの時間を短縮すると同時に、人間の判断を入れない自動停止をかける等の対策をとる。 また安全弁の噴出し部を不活性ガス雰囲気にしたり、噴出し部周囲の保安距離をとる、などの対策をとる。		
事故例	重合反応の制御を行う冷却システムに異常が発生し、内部圧上昇、反応温度上昇等のアラームで状況判断している間に反応が暴走し、安全弁から高温の重合物、モノマーが噴出、火災発生となった。		
法的参考事項			
備考			